

授業科目	病理学各論Ⅱ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数	
		◎	1年次前期	1	講義	30時間	
到達目標	1.食と代謝(口腔)に関連する症状と病態を捉え、疾病の成り立ちを理解する。 2.食と代謝(口腔)に関連する生体の診断を理解する。 3.食と代謝(口腔)に関連する治療を理解する。 4.食と代謝に関連する症状と病態を捉え、疾病の成り立ちを理解する。 5.食と代謝に関連する生体の診断を理解する。 6.食と代謝に関連する治療を理解する。 7.排泄(便)に関連する症状と病態をとらえ疾病の成り立ちを理解する。 8.排泄(便)に関連する生体の診断を理解する。 9.排泄(便)に関連する治療を理解する。 10.排泄(尿)に関連する症状と病態を捉え、疾病の成り立ちを理解する。 11.排泄(尿)に関連する生体の診断を理解する。 12.排泄(尿)に関連する治療を理解する。					講師 口腔外科医師 外科医師 泌尿器科医師 透析科医師	
	授業計画						
	1回	食と代謝(口腔)に関連する症状・疾患・診断・治療					口腔外科医師 (4時間)
	2回						
	3回	食と代謝に関連する症状と病態生理					外科医師 (16時間)
	4回	食と代謝に関連する疾患・診断・治療					
	5回	食道、胃・十二指腸、肝臓・胆嚢、膵臓の疾患					
	6回						
	7回						
	8回	排泄(便)に関連する疾患・診断・治療					
	9回	腸及び腹膜の疾患					
	10回						
	11回	排泄(尿)に関連する症状・疾患・診断・治療					泌尿器科医師 (6時間)
12回	排泄(尿)に関連する疾患・診断・治療						
13回	排泄(尿)に関連する疾患・診断・治療						
14回	排泄(尿)に関連する症状・疾患・診断・治療					透析科医師 (4時間)	
15回	排泄(尿)に関連する症状・疾患・診断・治療						
評価方法	修了試験 選択肢又は論述問題による筆記試験(100%) 口腔外科医師(15%)、外科医師(50%)、泌尿器科医師(20%)、透析科医師(15%)を総合して評価する						
教科書	共通 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 口腔外科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑬歯・口腔 医学書院 外科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑤消化器 医学書院 泌尿器科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑧腎・泌尿器 医学書院 透析科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑧腎・泌尿器 医学書院						
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。						

